

「全国大学まちづくり政策フォーラム in 京田辺」設立趣意書

全国の各地域では、当該地域が抱える問題解決のために、あるいは新たな活性化を目指して、さまざまなまちづくり活動が展開されてきました。ところが、近年、少子高齢化、地球温暖化などの深刻な問題が押し寄せてきていると同時に、地域によっては市町村合併による自治体再編に直面し、新たなまちづくりに迫られているところが少なからず存在します。

これまでのまちづくり活動は、商店街の中での空き店舗の活用、子供を中心としたイベント開催など、一定のテーマとアイデアによって、特定の限られた空間の活性化を目指す実施型のまちづくり活動が、多かったのではないのでしょうか。しかしながら、これから我々が直面する課題はこのような対処療法的な対応だけでは立ち向かうことができず、まず地域がどのような方向を目指すべきかという政策議論によって、目指すべき地域像の共有化を図る必要があります。そして、このことを前提に、住民、地域、NPO、行政、企業等がそれぞれの役割を認識しつつ連携して、新たなまちづくりの戦略を立てることが求められているのではないのでしょうか。

そこで、全国の大学生や大学院生が京田辺に集い、政策を多角的

に議論するとともに、政策の実施、評価の一連の政策過程を射程に入れた「まちづくり政策議論」の必要性を発信し、全国の自治体の活性化に寄与することを目的として、「全国大学まちづくり政策フォーラム in 京田辺」を設置することといたしました。

京田辺市には同志社大学京田辺キャンパスがあり、京田辺市と同志社大学とは両者が連携して地域の活性化に取り組んできました。このような大学との連携基盤のある京田辺市に、広く全国から大学生や大学院生が集まり京田辺市を調査分析（評価）し、政策議論を展開することで、これからの「まちづくり政策」の必要性を全国に発信できるものと確信しております。

「全国大学まちづくり政策フォーラム in 京田辺」で議論した政策を実現するための実施プログラム作成については、京田辺市と連携して、多くの大学生や大学院生に実習の場を提供できるように努めます。

また、先に設立された「全国大学政策フォーラム in 登別」とは、類似した設立目的であり、積極的に連携して、全国の自治体の活性化に貢献する所存です。

平成 18 年 11 月 24 日

発起人 代 表 真山 達志 (同志社大学政策学部)

副代表 今川 晃 (同志社大学政策学部)

久村 哲 (京田辺市長)

畑 俊宏 (京田辺市議会議長)

北川 欽造 (京田辺市商工会会長)

上村 義忠 (京田辺市市政協力員連絡協議会会長)

山谷 清志 (同志社大学政策学部)

井口 貢 (京都橘大学文化政策学部)

千田 二郎 (同志社大学工学部)

松岡 敬 (同志社大学工学部)

顧 問 片山 傳生 (同志社大学副学長)